

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●桜花賞はレッツゴードンキが逃げ切りV

4月12日(日)の2回阪神6日・第11レースとしておこなわれた桜花賞(G I)ではレッツゴードンキ(牝3歳/栗東・梅田智之厩舎)が逃げ切り勝ちを収めました。桜花賞での逃げ切りは1985年のエルプス以来30年ぶりのこと。レッツゴードンキは新馬戦以来の勝利で、1勝馬が桜花賞を制したのは2013年のアユサン以来2年ぶり6頭目のこととなります。

●ロンジンワールドベストレースホースランキング発表

IFHA(国際競馬統括機関連盟)から「ロンジンワールドベストレースホースランキング」が発表されました(単位はポンド)。今回の発表分は2015年1月1日から4月5日までに施行された世界の主要レースが対象で、ドバイ・ワールドCデー諸競走などが含まれます。サンタアニタHなどを勝ったシェアドビリーフとクイーンズシルヴァージュビリーCを快勝したエイブルフレンドがトップタイ(125)に並び、日本からは阪神大賞典3連覇のゴールドシップが第11位タイ(120)、豪G1のジョージライダーSを勝ったリアルインパクトとドバイ・シーマクラシック3着のワンアンドオンリーが第21位タイ(118)にランクインしています。

●天皇賞(春)に海外からの出走なし

天皇賞(春)(G I)の選出馬となっていたブラウンパンサーおよびレッドカドーの関係者より出走を辞退する旨の連絡がありました。これにより同レースへの外国馬の出走はなくなりました。

●マイネルフロストがシンガポール国際レースの招待受諾

5月17日(日)、シンガポールのクランジ競馬場にておこなわれる2015シンガポールエアラインズインターナショナルC(G I)にマイネルフロスト(牡4歳/美浦・高木登厩舎)が選出され、同馬の関係者が招待を受諾しました。

●マヤノトップガンが種牡馬を引退

北海道新冠町の優駿スタリオンステーションで繋養されているマヤノトップガン(牡23歳)は3月11日(水)付で種牡馬登録を抹消され、今後は功労馬として余生を送ることとなりました。同馬は菊花賞、有馬記念、宝塚記念、天皇賞(春)のG I 4勝を含めJRA通算21戦8勝の成績を残して1997年に現役を引退。種牡馬としては、パンブーユベントス、プリサイマシーン、チャクラ、メイショウトウコン、キングトップガン、ムスカテルなどを送り出しました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●サンピスタがマリーンC(船橋)で4度目の重賞制覇

マリーンC(Jpn III、4月14日、船橋、1600m)は、2番手を進んだサンピスタ(岩田康誠騎手、牝6歳、父スズカマンボ)が直線に入って間もなく抜け出して後続を4馬身引き離し、単勝1.6倍の断然人気に応えました。2番人気のトロワボヌールが2着、3番人気のアクティビューティが3着、逃げた4番人気のサマリーズが4着と、4頭出走したJRA所属馬が人気順に上位を独占しています。

●スプリングCはJRAから移籍のシークロム、各地の主要3歳重賞

スプリングC(4月5日、水沢、1600m)は、重賞2連勝中で単勝1.3倍という圧倒的な支持を集めたスペクトルが逃げましたが、JRA 3戦未勝利でこれが岩手移籍緒戦だった4番人気のシークロム(牡、父ローレルゲレイロ)が差のない2番手追走から直線半ばで差し切り、初勝利が重賞制覇となりました。あやめ賞(4月4日、水沢、1400m、牝馬)は、単勝1.1倍で圧倒的人気のグッドギアー(父スズカマンボ)が4馬身差で逃げ切り勝ち。ル・プランタン賞(4月12日、佐賀、1800m、牝馬)は、先手を取った単勝1.7倍で1番人気のユズチャン(父カネヒキリ)が、高知からの遠征馬プリンセスポーラーの追撃を1馬身差で振り切り、花吹雪賞に次ぐ重賞制覇を果たしています。

★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

●第168回グランドナショナルは人気薄のメニークラウズが優勝

英国のグランドナショナル大障害は4月11日、リバプール郊外のエントリー競馬場で行われ、オッズ26倍のメニークラウズ(騾8歳、父クラウディングズ)が優勝しました。2番目に重いハンデ(約73.9kg)でしたが、好位追走から残り4つの障害を残して先頭に立つと、セントアーの追撃を1馬身 $\frac{3}{4}$ 抑え、距離35.5分、稍重の勝ちタイムは8分56秒80。勝利騎手L.アスペルは2勝目。調教師O.シャーウッド(英)。馬主のT.ヘミングズ氏は3勝目。1頭取消の39頭で争われ、完走は19頭。2周目のカナルターン(第24障害)は負傷馬が出て封鎖され、退避路を使用。1着賞金は56万1300ポンド(約9930万円)。

●クイーンエリザベスSはクライテリオンが勝ち、日本馬は敗退

豪G1のクイーンエリザベスS(芝2000m)は4月11日、シドニー郊外のランドウィック競馬場で行われ、2番人気のクライテリオン(牡4歳、父セプリング)が快勝、トーセンスターダムは5着、トゥザワールドは12着でした。